

早期に都政の正常化を求める決議

舛添都知事は高額な海外出張、公用車の私的利用さらには政治資金の不正使用疑惑など多くの疑惑が報道され、多くの都民の皆様から批判の声が上がっています。5月13日の定例会見では精査した結果とのことでしたが、ホテルの会議費をはじめとする私的な支出と思われるものが見られ、政治資金収支報告書を訂正し返金するとしましたが、内容は不明確なものが多く、到底疑惑を払拭できる内容とは言えませんでした。5月20日の定例会見においても第3者の公正な弁護士に調査を委ねましたが、自らの疑惑を晴らすような発言はありませんでした。また、都議会での質疑においても十分な説明責任を果たすことなく混乱を招いただけの結果となってしまいました。あまりにも無責任な行動発言は、東京都民のみならず我が国全体の政治不信を招いています。日本のオリンピック・パラリンピックの開催地として決定している東京としては、世界にもマイナスの発信となっています。

舛添都知事が平成26年の都知事選挙において多摩地区重視を掲げ、担当副知事を置くなど、私たちは大きな期待を寄せ、奥多摩から東京都への政策提言を繰り返してまいりました。何回か当地を訪れていただけの予定がありましたが、残念ながら視察の実現を見ることは叶いませんでした。今回、湯河原への別荘通いの際、「奥多摩より湯河原が近い」発言は私たち奥多摩住民にとっては大変残念な思いを抱きました。奥多摩町は町民の皆様、歴代の町長はじめとする行政、先輩を含めた私たち議会人が地域づくりに邁進してきました。ここ数年、東京都には大きな支援をいただいておりますが、地域基盤整備をはじめとする多くの課題がいまだに山積しております。

舛添都知事には、これまでの世論を真摯に受け止め、都民が納得できるような政治資金疑惑等の全容解明を求めます。

奥多摩町議会はこのような事態をいち早く改善して東京に奥多摩ありと言えるような政策を推進できますよう都政の早期正常化を求めます。

以上決議する。

平成28年6月17日

東京都西多摩郡奥多摩町議会